

「太平山麓九条の会」だより



事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757
電話連絡先 0282-22-7079(増田)
Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp HP：太平山麓九条の会で検索

190号
2023年4月21日発行

5月3日憲法記念日

新しい戦前にしないために！

「憲法守れ、9条守れ」の声を上げよう！

- ・スタンディングと歌でアピール
- ・場所：イオン・カワチ前交差点
- ・日時：5月3日（祝）10時から 約30分

◆国会では軍事費増強の予算が通ってしまいました。それに伴い、改憲の動きも加速しています。あまり報道されていませんが、

沖縄は自衛隊の基地が増設され、ミサイル基地になりつつあります。9条を持つ国として、このような軍事国家への道は許されません。今こそ「憲法守れ、9条壊すな」の声を上げていきましょう。ぜひご参加ください。

◆署名にご協力！

「改憲反対」「軍事費増強反対」の意思表示のひとつが署名です。小さな力が集まれば大きな力になります。郵送・スタッフへの手渡し・くらのボックスに入れるなど、やりやすい方法で。



22年5月3日「栃木イオン・カワチ薬品前交差点」

戦争の愚かさ

玉田文男 4.9 記

ロシアによるウクライナ侵略戦争が始まったとき、「ロシア軍は強い、経済は弱い・ウクライナはロシア軍に圧倒されるが、ロシアの経済も西側の制裁で困難に陥る」が大方の見方だった。一年以上たってしまった今、実際に起きているのは逆。ウクライナ軍もロシア経済も「健闘」している！？ いまや『領土をめぐる限定戦争』ではなく「西側諸国全体」と「ロシアとその後ろ盾となる中国」の衝突のような状況か？

それを背景に『5年間で軍事費倍増＝43兆円(世界3位！)・敵基地攻撃能力保有』などと国会論議もなく閣議決定してしまった岸田さん、どうかしている！ おまけに口では『専守防衛・平和憲法堅持』と言いながら… 私たちの漠然とした不安感＝ウクライナのように攻め込まれる？ 台湾有事に巻き込まれる？ 等々に付け込むようなやり方。

しかし冷静に考えれば日本とウクライナをとりまく状況は全然違う。「日米同盟強化や敵基地攻撃能力」は「軍事大国化した中国」への「抑止力」にはならず、逆に日本への攻撃の口実になるのではないか！？…沖縄を先頭に日本全土が戦火にさらされる！ 日本海側に並んだ原発再稼働は愚の骨頂、それこそ北朝鮮のミサイルの標的になる！

戦争の愚かで悲惨で残虐な実態を知り、平和憲法・9条を定めた日本が独自の包括的な外交を展開するのは「今でしょ！」…21世紀に「アフガン・イラク戦争」を引き起こし「パンドラの箱」を開けてしまったのはアメリカ。暴力の連鎖の流れがウクライナ侵略戦争につながっていると私は思う。

『憲法9条未来を拓く！』⇔『軽すぎるアベのマスクにキシダのしゃもじ』

◇スタンディング 5月9日（火）市役所前 19日（金） ケーズデンキ前 午後4時～

◆スタッフ会議 5月11日（木）・26日（金）・6月8日（木） 13時半～ 交流センター楽習館くらら

憲法・九条・平和・環境問題で発言し、活動した

大江健三郎さん・坂本龍一さん逝く

お二人の思いを受け継いでいこう！



ノーベル賞作家の大江健三郎さんは、2004年6月10日、井上ひさし、

梅原猛、奥平康弘、小田実、加藤周一、澤地久枝、鶴見俊輔、三木睦子の各氏とともに「九条の会」の呼びかけ人となられ、九条を守るために活動されていました。近年呼びかけ人の多くが他界されるなか、大江さんの存在は私たちに勇気づけてくれていました。世界を舞台に活躍されていた坂本龍一さんは、音楽だけでなく、平和や脱原発・環境を守るための発言や行動をされていたことでも有名です。生前のお二人の発言の一部を以下に掲載します。

◆ 大江健三郎さん

「積極的平和主義」という言葉に対比すると、いままで日本が取ってきた態度は憲法9条に基づく「消極的平和主義」になる。日本は平和を守るために戦うとは決して言わなかった。軍備を持たない、戦争はしないと世界に言い続けた。平和という場所に立ち止まる態度だ。僕は尊重されるべき「消極的平和主義」だと考えている。

「積極的平和主義」は言い換えれば「消極的戦争主義」になる。米国の戦争について行く。戦場で肩を組んで行けば「消極的」か「積極的」かは関係なくなってしまう。自衛隊員が1人でも殺される、あるいは自衛隊員が1人でも殺すことになれば「消極的戦争主義」というフィクションも一挙に消えてしまう。憲法9条を残したまま、すっかり別の国になってしまう。後戻りはできない。それは明日にも現状になる。(東京新聞2014年12月5日朝刊より)

◆ 坂本龍一さん

私は今回の安保法制は、正面から改正することなく、解釈によって憲法をなし崩しにしようという、クーデターに近いものだと思います。しかし、それによって、多くの日本人、特に女性の中に、兵器への忌避感・戦争への拒否感、つまりは憲法9条の精神が、今でも深く刻み込まれていることが分かりました。また、これまで政治、憲法などについて深く考えたことのなかったであろう多くの若い世代の人たちが、それらを身近に考え、自分の意見を述べ、行動に移しています。これらのことが私にとって唯一の希望です。(2015年夏、学者の会とSEALDsに寄せたメッセージ)

・憲法記念集会「落語で憲法」八法亭みややっこ(飯田美代子弁護士) 主催: 9条の会・栃木 栃木革新懇

日時: 5月3日(祝) 14時から とちぎ健康の森(講堂)

・大軍拡反対、憲法改悪を止めよう! 九条の会全国交流集会 大江健三郎さんの志を受けついで

日時: 5月28日(日) 13時30分~16時30分(開場13時) 参加費: 一般1000円 学生500円

会場: 日本教育会館・第一会議室(東京都千代田区一ツ橋2-6-2 Tel.03-3230-2831) 事前申し込み

世界の39もの言語に訳され親しまれている絵本といえば、エリック・カールの「はらぺこあおむし」ですね。その鮮やかな色彩とコラージュという手法による数々の作品は、みんなの心をとらえ続けています。

私は多くのカール作品のなかで動物の「ナマケモノ」の生態を描いた「ゆっくりがいっぱい!」の絵本がとて好きです。

毎日毎日、木にぶらさがっている「ナマケモノ」に他の動物たちはどうしてなまけているのかと攻めますが・・・私は読むたびに、そっと背中を押される気がします。

読んでもらった子どもたちにも、カールさんのやさしくて大きなところが伝わっているに違いありません。読んだ後は、大空の下で思いつき深呼吸したくなりますよ。

(布施木とめ 記)



エリック・カール さく
くどう なおこ やく